



# コグニザントジャパン 会社概要

Cognizant Japan Company Outlook

2023年度 第2四半期

# コグニザント会社概要

## Company Outlook

### 本社: Cognizant Technology Solutions Corporation

設立年度: 1994 年  
CEO: Ravi Kumar S  
Fortune Modern #19  
Board 25:  
Forbes G2000: #589

グローバル本社:  
米国  
ニュージャージー州  
ティーネック  
オフィスロケーション:  
37か国 300拠点

従業員数:  
約35万人  
地域別比率:  
• 米国: 73.5%  
• 欧州: 20.5%  
• その他: 6%

売上高 (2023年度第2四半期):  
4.9B USD (約7,122億円)  
調整後営業利益率 14.2%  
FCF(2023年度第2四半期) 599M USD  
Diluted EPS 1.10 USD

[www.cognizant.com](http://www.cognizant.com)

上場市場 Nasdaq  
CTSH (Class A)  
NASDAQ-100 component  
S&P 500 component

### 国内法人: Cognizant Japan KK

設立年度: 2008 年  
CTS100%子会社  
社長: 村上申次

東京本社:  
〒102-0083 東京都千代田区  
麹町2-1 PMO半蔵門  
03-4563-8300 (代表)

従業員数:  
約1,000人  
国内顧客数:  
80 社

主な業界:  
保険、医薬、医療機器、金融、製造、流通、テクノロジー

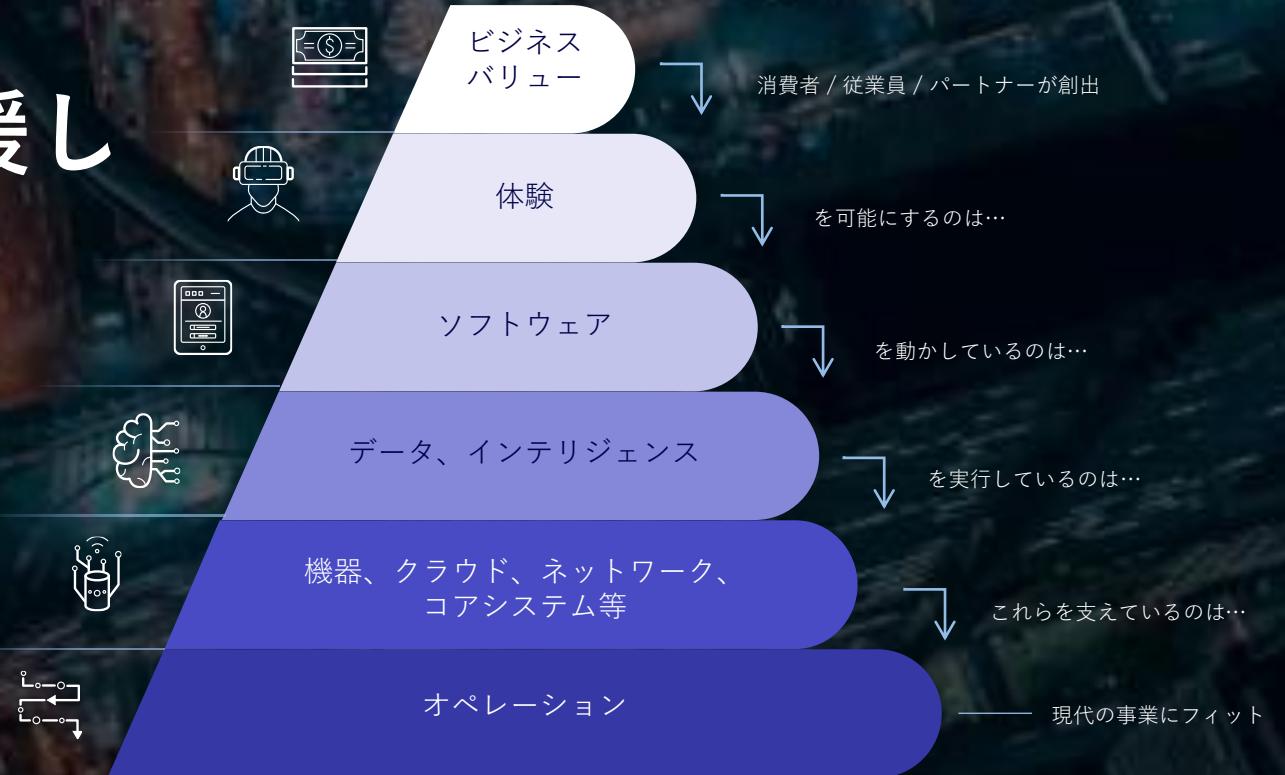
コグニザントジャパンの強み:  

- 欧米のデジタルビジネス事例の日本の展開能力
- 日本の人員構成 (全社員の50%バイリンガル)
- 人材確保のスピードと能力 (社内・社外)
- デジタルビジネス比率 (日本を含めグローバルで51%)
- ビジネス形態の柔軟性
- パートナー戦略 (日本と実績のあるパートナーとの取組み、グローバルの戦略パートナーとの取組み)

[www.cognizant.com/jp/ja](http://www.cognizant.com/jp/ja)

# ビジネスの近代化を支援し 人々の生活改善に貢献

当社の目的はテクノロジーによってお客様とその顧客、そしてコミュニティに利益をもたらすことです。



# ジャパン フォーカス・ソリューション



デジタルエクスペリエンス	製品やサービスを作る上で、利用者の心地よい経験を重きにおいて開発手法で、顧客や従業員の満足度向上につなげ、デザインし、インターフェイスを刷新、実装。
モノのスマート化	様々な「モノ」がインターネットに接続され、情報交換することにより相互に制御する仕組み提供するサービス。
ソフトウェアの近代化	レガシーシステムを刷新し、デジタル化が加速する世界で拡張性が高いクラウドをベースとしたアプリケーションの俊敏性向上を支援。
品質保証の自動化	多大なコストをかけている品質保証(QA)に対して、自動化を取り入れ、問題点をリリース前に可能な限り排除する現代的なテスト方法論を取り入れたサービス。
業務処理の自動化	経理、総務、営業事務、人事などあらゆる業務処理作業などのプロセスの自動化を通じて、多大にかかっている工数と費用を削減するサービス。
人工知能分析	人口知能分析とは人工知能がデータの傾向を分析し、過去・現状把握から未来の予測に対して判断を行うことであり、その仕組みを提供するサービス。
デジタルワークプレース	いつでもどこでも同じ環境で快適に働ける、かつ生産性と効率を高めるデジタルな仕事空間を支援するサービス。
BPO（ビジネスプロセス オペレーション）	限られた人的資源は生産、営業等の利益を直接生むコア業務に関わらせ、ノンコア業務（総務、経理、人事、営業支援、その他の管理業務等）は受託するサービス。

# 事例と効果

ソリューション	一部の事例	効果
デジタルエクスペリエンス	ロンドンの百貨店 M&S に対して、レジ支払いを顧客のスマートフォンを使ってM&S専用ウェブアプリを通じて商品タグをスキャンし、支払の迅速化を行った。	レジ端末と従業員数の削減 売上の向上と顧客エクスペリエンスの向上
モノのスマート化	米国Fortune 50製薬会社が買収を行い、工場などに導入している古い工作機械を管理するアプリケーションや製造プロセス等を一新した。	工場の運用コストを平均で15%–30% 削減 メンテナンスコストを平均で10%–40%削減
ソフトウェアの近代化	世界で有数の投資会社の100以上のレガシーアプリをDEVOPS環境下での開発可能なマイクロサービスアプリに移行。	プロジェクトの工数50%削減, CI/CD自動化プロセスの実現により開発スケジュールの25%短縮が実現
品質保証の自動化	英国小売業界大手のセルフレジPOS端末を24X7で継続品質保証テスト実施。 世界的なバイオ製薬会社に対してS/4 Hana移行テストサービスを提供。	50%の工数削減
業務処理の自動化	毎日10万件の保険給付申請処理を行っている保険会社に自動化ツールの展開(100以上のBOTの導入)とAIを用いて既存のワークフローの自動化のサービスを提供。	保険給付申請処理時間を600%速めた 年間\$15Mのコスト削減。
人工知能分析	コンビニエンスストアに対してセールスデータやサプライチェーンのデータ分析を刷新し、予測分析能力を強化するサービスを提供。	予測分析能力の強化により20%の売上増加 ROIを6ヶ月達成
デジタルワークプレース	メディカル情報を提供する会社に対して2000人の従業員のデスクトップのアプリケーションをAWSクラウドベースのワークプレースサービスに移行した。	TCOの30%削減 従業員の満足度向上、セキュリティの強化
BPO（ビジネスプロセスオペレーション）	ヨーロッパの製薬会社に対してISCR基準にそったオペレーションを提供。自動処理によって年間250K件の個別症例安全性報告書を処理した。	72万時間の工数削減 30%の処理時間の削減



# ありがとうございました。

私たちは、テクノロジーが日常業務を向上させるための  
有意義な方法と一緒に見つけることができます。

現代のビジネスをエンジニアリングする  
See how at [www.cognizant.com/jp/ja](http://www.cognizant.com/jp/ja)